

臓器移植を受けたお子さんと ペットの生活



独立行政法人国立成育医療研究センター
生体防御系内科部 感染症科 ・ 臓器移植センター 移植外科

目次

はじめに	2
1. 動物との接触によって起こりうる感染症にかからないためには	3
1) 動物との直接的な接触による感染	3
2) 動物との間接的な接触により感染	3
2. ペットを飼う上での基本的なルール	4
1) 移植前からペットを飼っていたご家庭	4
2) 移植前はペットを飼っていなかったご家庭（新しく飼いはじめたい場合）	5
3. 動物園・水族館について	7
おわりに	8



はじめに

移植を受けられたお子さんとご家族の皆様へ

ペットを飼っているご家庭では、ペットはご家族の大切な一員だと思います。お子さんにとっては、まるできょうだいのような存在かもしれません。ペットとのふれあいは、精神的な癒しだけでなく、肉体的な運動効果が得られることも知られています。

その反面、動物は多くの病原体を持ち、動物から人にうつる感染症(人獣共通感染症)も数多く存在しています。移植を受けた後のお子さんは特に注意が必要です。それは、移植手術の後、移植臓器がしっかり働くことができるように、お子さんは免疫抑制剤を飲み、免疫力を少し低下させることになるためです。その結果、移植後、これまでかからなかった感染症にかかったり、あるいはかかった場合に重症になることもあります。

また、お子さんの体調は皆さんそれぞれ異なります。ご家庭で飼っているペットの種類もいろいろであるため、感染症(人獣共通感染症)の危険性も異なります。

移植を受けた後、「このまま家でペットを飼っていても良いのだろうか…」と不安になったり、迷われることも多いでしょう。

そこで今回はどのような状況であれば、ご自宅でペットを飼うことができるのか、その場合どのようなことに注意しなければならないのか等についてご紹介いたします。

独立行政法人国立成育医療研究センター
生体防御系内科部 感染症科 ・ 臓器移植センター 移植外科



1. 動物との接触によって起こりうる感染症にかからないためには

動物から人にうつる感染症(人獣共通感染症)の原因は、多くの種類の病原体がありますが、それらの病原体が何らかの経路で人の体内に侵入することで感染症が引き起こされます。

動物を飼う上でとても大切なポイントは、大きく分けて2つあります。

飼っている動物が感染症にかからない事(病気のない動物を飼うこと)

病原体が人に入るのを防ぐ事

感染を起こす危険性の少ない動物で、飼い方に注意した場合は、これらの感染症が起こる可能性はかなり低いと言われています。

1) 動物との直接的な接触による感染

病原体を持つ動物に咬まれたり、動物の身体や糞に直接触れることにより、感染します。咬まれたり、ひっかかれた場合は、傷口から菌が侵入し、皮膚の感染症をおこしたり、重症な場合は血液の中に菌が入りこむ菌血症という状態を引き起こしたりすることがあります。主なものは次の通りです。

狂犬病(動物に咬まれることによりますが、日本では極めてまれです。)

サルモネラ症

(サルモネラ菌に汚染された食物を生で食べたり、カメなどの爬虫類と接触した場合)

皮膚の感染症

2) 動物との間接的な接触により感染

病原体を持つ動物の糞や尿によって汚染された土壌に触れるなどの、間接的な接触によって感染します。動物の便などに存在する菌を口から飲み込んでしまうことによっては胃腸炎や寄生虫症をおこしたりすることがありますし、鳥の糞などを吸い込むと肺炎の原因になったりすることがあります。主なものは次の通りです。

犬回虫症(犬の糞など)

トキソプラズマ症(犬・猫の糞など)

クラミジア肺炎(鳥の糞など)



2. ペットを飼う上での基本的なルール

移植後、ペットをご自宅で飼うには、医師の許可が必要です。

	移植後～半年間	移植後、半年以降
移植前からペットを飼っていたご家庭	移植後、半年間は別の場所でペットを預かってもらいましょう。	医師の許可が下りたら、ペットと同居しても良いです。
移植前はペットを飼っていなかったご家庭	新たにペットを飼うことは避けてください。	(但し、必ず注意事項を守ってください)

1) 移植前からペットを飼っていたご家庭

A. ペットを飼うことができる時期

移植手術を受けることが決まったら、退院後しばらくペットを預ける必要があることを、まずご理解ください。移植手術後、半年ほど、親戚や友人等、ペットを預かってもらえる先を手配しておきましょう。ペットと離れるのは寂しく、辛いと思いますが、ちょうどこの時期は、移植された臓器が拒絶反応を起こさないように、免疫抑制剤を調整することが、とても大切な時期なのです。同時に、お子さんの免疫状態もまだ落ち着く前の段階です。

術後、半年が経過し、お子さんの身体、免疫状態に問題がなく、ペットを飼う上で、いくつかの約束事を守って頂ける状況が整ったら、担当の医師はペットとの生活を許可する場合があります。

移植後、どうしてもペットを預かってもらうことができない場合は、ご自宅のお子さんの部屋以外、またお子さんの生活スペースではない場所で飼ってください。お子さんが自分でペットに直接触れないように気をつけ、ペットの世話はお子さん以外のご家族が行うようにしてください。

B. ペットの飼い方

ペットを飼うときに守ってほしい事柄は、次の通りです。

できるだけ室内で飼育しましょう。猫の外飼いはやめましょう。

(外で飼うと、知らない間に野生の動物とペットが接触して、病気をもらってしまうことがあります。なお、犬を散歩させる場合は、散歩中に他の動物と接触させないように注意しましょう。また、散歩中に糞の始末をする時は、直接糞に触らないように、手袋をつけましょう。散歩から帰ってきたら、犬の手足をきれいに洗いましょう。)

お子さんがペットに触ってしまった後は、かならず石鹸と流水で手を洗いましょう。



ペットには生の食物を食べさせてはいけません。ペットフードか加熱調理済の食事を与えましょう。

ペットが下痢をしている時はお子さんが触らないように気をつけてください。ご家族がペットを動物病院に連れて行き、診察、治療を受けさせてください。

糞には直接触らないようにしましょう。(ビニール手袋を着用して、片づけてください)

ペットの爪はよく切っておきましょう。もしお子さんが引っ掻かれたらすぐに石鹸と水でよく洗い流しましょう。出血した場合は、傷をしっかりと洗い、病院を受診してください。

ペットとキスをしたり、ペットに自分の口や傷口をなめさせないようにしましょう。

ペットのノミの対策、駆除をしっかりしましょう。

ご家族がペットを定期的に動物病院に通院させ、必要なワクチン接種、健康管理を受けるようにしましょう。

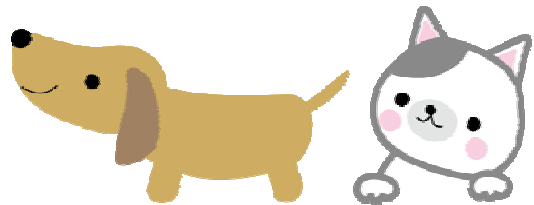
2) 移植前はペットを飼っていなかったご家庭(新しく飼いはじめたい場合)

A. 新しくペットを飼うことができる時期

移植手術の直後は免疫抑制剤の使用量も多く、体の免疫力が十分回復していないため、ペットを飼うことはできません。しかし、移植手術後、移植された臓器がしっかりと働き、お子さんの全身状態も回復し、移植された臓器とお子さんの免疫力のバランスが落ち着いてきたら、医師の判断により、ペットを飼うことが許可される可能性があります。大体、目安は術後半年以降です。お子さんが退院後、ご自宅でペットとの生活を希望される場合、必ず医師にご相談ください。

B. ペットを飼うことができるお子さんの年齢

小学生以下の小さなお子さんは、動物から人にうつる感染症や、安全なペットの飼い方を正確に理解する事が難しく、ペットとの過剰な接触をしてしまったり、ペットを怒らせ噛まれたり、ひっかかれたりする危険性があります。十分理解し、適切な飼い方が行える年齢として、私たちは中学生以上の年齢が望ましいと考えています。



ペットに触ったら、手をよく洗ってね!

C. 飼って良いペットの種類

基本的には犬もしくは猫のみとします。これは、これらの動物は病気を持っている可能性が少なく、また体調管理もしやすく、上手に飼えば安全であることがわかっているからです。

但し、野良猫、野良犬はどのような病気を持っているかわからないので、拾ってきた犬や猫を飼うことはできません。ペットショップなどで健康であることが分かっている犬や猫に限ります。

また、子犬、子猫は病気にかかりやすいので生後6カ月以降の犬か猫にしましょう。

犬と猫のどちらがより良いかという、猫は切歯(前歯)、犬歯(糸切り歯)がするどく、咬まれた場合に深い傷になりやすいので、ペットとしては犬の方がより望ましいです。

インコなどの鳥や、ヘビ、トカゲなどの爬虫類、モルモット、ハムスターなどのげっ歯類、その他の珍しい動物などは、しつけも難しく世話をしている間、気付かない内に感染してしまう事が多いため基本的にこれらの動物を飼うことはやめましょう。



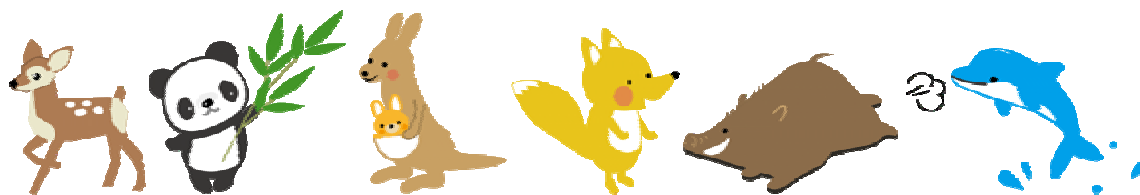
げっ歯類:

お家で飼わずに、絵本で見よう!

『細かい事ばかりで大変だ!』と思われるかもしれませんが、上手にペットを飼うにはどれも重要なことばかりです。これらの条件が守れない場合、ペットを飼うことはできません。また、ペットでなくても病気の動物や、生まれて6カ月未満の動物、野良犬、野良猫には触らないようにしましょう。

3. 動物園・水族館について

ここでは、動物園・水族館について、よくお受けするご質問と、その回答をご紹介します。



Q1. 動物園や水族館にいつから行っても良いの？

手術後、半年間は動物園に行くことは避けてください。手術後、半年経ち、お子さんの身体の状態、免疫の状態が安定していれば、動物園に行くことは可能です。個人差がありますので、術後半年以上、経過したところで、医師にご相談下さい。



Q2. 半年経ったら、動物園や水族館のどこの場所に行っても良いの？

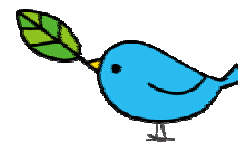
動物や魚類が檻や柵の中の限られた空間、密閉された空間にいる場合は、良いのですが、直接動物や魚、爬虫類に触れあえるような触れ合いコーナーは避けた方が良いでしょう。

「動物に触らないように…」と十分気をつけていても、突然、動物が寄ってきたり、つい、触ってしまうことがあります。



かわいい動物たちだけど、直接、触れるのは避けましょう。

また、鳥はいろいろな菌を持っていることがあり、鳥の便が混ざったほこりを吸い込むと病気になることがあるので、鳥の展示エリアへは避けてください。



おわりに

動物は私たちの良きパートナーとなり、多くの癒しを与えてくれます。動物の事をよく知って、気をつけながら、うまくお付き合いしていきましょう。

このページが皆さまにとって、ペットの飼育とはどういうものかを考える手助けになればと思います。お子さん、ご家庭の事情によってそれぞれ状態は大きく異なりますので、上記のとおりに行かないこともあります。移植後、ペットとの生活を考えていらっしゃるご家族は、必ず医師にご相談ください。



臓器移植を受けたお子さんとペットの生活 Ver1.0

独立行政法人国立成育医療研究センター
生体防御系内科部 感染症科 ・ 臓器移植センター 移植外科
〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

許可なしに転載することを禁じます

